

開催日時	平成29年10月3日(火) 午前10時～午後12時		
開催場所	西尾市役所41会議室		
出席者	【会長】		
	日本福祉大学	国際福祉開発学部教授	千頭 聡
	【副会長】		
	NPO 法人やらまいか人まちサポート	理事長	牧野明広
	【評価会議会員】		
	西三河農業協同組合	営農部長	黒野善久
	西三河漁業協同組合	総務部長	稲吉志乃武
	西尾市観光協会	専務理事	田中 等
	連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会	議長	中村守道
	株式会社 キャッチネットワーク	代表取締役副社長	松永光司
	西尾商工会議所中小企業相談所	所長	若杉真吾
	西尾信用金庫	企業支援部長	樺山幸彦
	【事務局】		
	企画部	次長	宮地将人
	企画部企画政策課	課長	齋藤武雄
	企画部企画政策課	課長補佐	本田正浩
	企画部企画政策課	主査	加藤弘之
	企画部企画政策課	主事	鈴木 恵
	【交付金対象事業関係者】		
	産業部企業誘致課	課長補佐	青山敏彦
産業部企業誘致課	主査	大野修司	
産業部商工観光課	課長補佐	杉山直樹	
産業部商工観光課	主査	左右田明	
欠席者	保育園園長		
	矢田つぼみ保育園	杉浦孝子	
内容	1 開会及びあいさつ 企画部次長よりあいさつ		
	2 議題 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の平成28年度 の取組状況等について 事務局及び交付金対象事業関係者より説明 〈会員からの主な意見〉 【松永会員】 2030年～2040年にかけて自動車の電動化が急激に進んできている。アイシンの 社長が7月の記者会見でアイシングループの3.5兆円ある売上のうちエンジンが なくなれば2兆円がなくなると言われていた。自動車産業の産業構造が急ピッチ で進んできている。AI化やロボット化が進み一般事務や工場での仕事が減って いくと予測される。新しい産業の発掘や長期的視点に立った企業誘致や産業界の連 携などしっかり取り組んでほしい。 【事務局】		

自動運転など新たな動きがあることはこちらも感じているので、対応できることを行っていきたい。最近では県、企業、市がコンソーシアムを組んで自動運転に取り組む中に西尾市も参加していくことになった。

【稲垣会員】

先日、水質の試験情報が発表され、下水の普及に伴い海はきれいになったが、栄養不足となり、それと比例するようにアサリが年々ダメになってきている。試験的に浄化センターで栄養塩（リン）のある水を排出するようにしていく。きれいな海と豊かな海の両立は大変むずかしい。

【事務局】

アサリは全国有数の漁場であり、大きな産業であるので、県、国と協力しながら取り組んでいきたい。

【中村会員】

西尾市に土地がなく一部企業は市外へ用地取得している。企業誘致を積極的に取り組んでいることは認識している。その上で雇用が生まれれば住む人が増えるので、まとまった土地を用意できるよう取り組んでほしい。

【事務局】

現在都市計画マスタープラン等を見直しながら土地を確保できるよう取り組んでいる。

【黒野会員】

この地域は、米、麦、大豆の産地であるが、優良な水田が減ってきているという話もあるので、企業誘致とうまくバランスを取って行ってほしい。

【田中会員】

昨年度、西尾市観光協会は法人化し、旅行業の免許を取得した。西尾にきたら何ができるかという着地型観光を進めている。GOGO 三河湾や竜の子街道といった広域連携も行って1歩1歩進んでいる。昨年度抹茶なべを開発し、今年は市内の和食店でも食べられるようになってきている。

【松永会員】

Wi-Fi スポットが5ヶ所では大変さみしい。市の財政状況もあるので、民間と連携して拡大してほしい。

【事務局】

市が設置したのは5ヶ所だが、民間事業者との協力により平成28年末時点で市内に40ヶ所の観光用Wi-Fi スポットがある。

【牧野副会長】

塩田体験館は、吉良温泉組合、観光協会、行政がどう活かしていくかが課題。

【千頭会長】

外国人の観光者を増やすのに、まずターゲットとすべきは在日外国人である。いきなり海外から西尾を目指してくることは難しい。在日外国人の方がトリップアドバイザーに口コミを書いて本国から訪れるパターンが多い。訪日外国人のツアーと併せて、日本にいる外国籍の方へもPRすると良い。

【若杉会員】

佐久島を訪れる年齢層はどのようか。

【商工観光課】

統計はとっていないが、若い女性の割合が多いと感じております。

【黒野会員】

耕作放棄地の解消のため、JAよりトラクターを寄附した。佐久島振興課と協力してさつまいもをかなりの品種を植えて栽培育成を行っている。また、収穫できたものを来島者へ振る舞えればと考えている。

【田中会員】

さつまいもに関しては体験ツアーを造って募集したところ、満員となった。来年度以降は、製品としてブランド化できないか検討している。

【縦山会員】

信用金庫の年金ツアーがある。ものづくりのまちということだが、魅力が少ない。市内の中小企業は立派なところが多く、受入れ出来るところもあるので、観光と連携出来れば良いと思う。産業も観光施設になることを認識してほしい。

【田中会員】

従前の観光関係の施設しか関わりがないので、是非そういった所を紹介していただけるとありがたい。

【若杉会員】

個人的に西尾市の子育て支援に対して特に不満はないが、他の地域と比べて西尾市はどうか。

【事務局】

この西三河地区は全国からみても大変恵まれている地区である中で、多くの施策は横並びとなっているが、その中で西尾市特有の施策としては出産支援金や保育園・幼稚園給食費無料化事業、第3子以降の保育料無償化事業などがあります。また、今年度から実施しております三世代同居対応住宅支援事業は、全国的にもめずらしい取り組みでありまして、加えて住宅金融公庫や西尾信用金庫との協力のもと金利の優遇措置を行うなど官民が連携して進めております。

あとは、それをどのようにPRしていくかということが課題の1つであります。

【縦山会員】

岩倉は駅で出勤する若い世代のために子どもを預かる施設があると聞いたことがある。西尾駅を活用すると言った点では、駅西のコンベンションの中に行政の施設があることも1つの案だと思う。

【千頭会長】

岩倉市の事業には関わりがありまして、取り組みはそのとおりだが、利用実態は想定したよりは多くない。ただ、名古屋へ通勤するかたには重宝している。

【松永会員】

働く男の人の意識を変える必要があると思う。2人目の子どもを産むかは、1人目の子どもの育児にどれだけ夫が関わったかによると言われている。女性も働きながら子育てをする家庭が増えているので、男性の育児参画が重要。そのためにも、会社組織で受入れできる体制が必要。

【事務局】

市役所としてもまさに同じことが言える状態で、人事課を中心として対応していく必要があると考えている。

【牧野副会長】

世の中の働き方が変わってきている中で、児童館は開館日が昔のままであるので、利用者のニーズを把握して使い勝手が良くなるように見直してほしい。

【千頭会長】

施策3はどうしても就学前の対応が多くなるが、実際には高校生からお金が必要となり、定住してもらうためには、その世代からの対応も必要と言われる。ただ、補助をするだけでは財政的な問題もあり、市クラスとなると難しいということもあるので、アイデアが必要。

【田中会員】

観光関係で10月中旬から観光協会のホームページを改修して、ただ情報提供するだけでなく、西尾の特産品を販売できるようにしたり、ツアーの予約ができるよう充実させている。

【縦山会員】

地域コミュニティを大切にすることは理解するが、市の玄関口は重要で、中長期的な視点にたつて西尾駅を中心としてコンパクトシティを進める必要があると思う。

【牧野会員】

長寿課の高齢者生活支援事業や地域支援協働課の小学校区に自立支援協議会など行政から仕組みを作られているが、地域の単なる受け皿となっているだけで、どういったことを地域で行わなければならないのかが伝わりきっていない。行政が手助けをしてモデル的な事業を進めて、他の地域見せて広げられると良いと思う。

【松永会員】

ピッチFMの件はどうなっているのか。

【事務局】

KATCHと東海総合通信局と協議をしたが、今の法制度の中で難しい。なんとかしたいという思いはある。

【若杉会員】

企業経営力強化サポート事業について、企業誘致課が一生懸命取り組んでいただいて感心している。ただ、春日井市では商工会議所と人事交流を行ったりして、市内企業からのニーズを把握でき、もっと、現場にあった補助ができたのではないかと思うところはある。

【田中会員】

竜の子として4市で連携できたことは評価できる。今後、補助が減っていくなかでどれだけ継続して事業を推進できるかが課題である。

【牧野会員】

西尾市の人口動態の中で、旧西尾市、旧3町の人口動態はどうか。

【事務局】

結果では、旧3町は減少しており、旧西尾市は増加している。トータルでは増加という結果になっている。

【千頭会長】

今回の取り組み状況のまとめは事務局案のとおりとして、本部会議終了後の最終結果は郵送とさせていただきます。本日皆様からいただいた意見は今後の取り組みの参考とさせていただきますこととさせていただきます、本日の会議を終了させていただきます。